

無料観覧日 10.17_土-18_日 11.3_{火祝}

特別展

入門! 神奈川県立歴史博物館
— 県博の守り伝えていくコレクション —

Highlights of the
Kanagawa Prefectural Museum of
Cultural History

2026
10.17_土-12.13_日

期 10.17_土-11.15_日

期 11.17_火-12.13_日

待たせたら
や

当館営業部長
パンチの守



神奈川県立歴史博物館
Kanagawa Prefectural Museum of Cultural History

【主催】神奈川県立歴史博物館

【後援】神奈川新聞社、朝日新聞横浜総局、毎日新聞横浜支局、読売新聞横浜支局、産経新聞横浜支局、東京新聞横浜支局、日本経済新聞横浜支局、共同通信社横浜支局、時事通信社横浜総局、NHK横浜放送局、tvk(テレビ神奈川)、ラジオ日本、FMヨコハマ、J-COM



丹波コレクション 東海道五拾三次之内 箱根(部分) 歌川広重(初代) 当館所蔵[前期]

【休館日】毎週月曜日(11月23日(月)祝は開館)【開館時間】9時30分~17時(入館は16時30分まで)
【観覧料】一般6000円(5500円) 20歳未満・学生4000円(3500円) 65歳以上2000円(1500円) 高校生1000円
※(一)内は20名以上の団体料金 ※中学生以下、障害者、学生を伴う方は無料 ※神奈川県立の美術館・博物館有料観覧券の持主が提出する団体料金になります
【交通】みなとみらい線「馬車道駅」3・5番出口から徒歩1分 JR「桜木町駅」新南口「ICカード専用」から徒歩5分 市営地下鉄「内線」9番出口から徒歩5分
〒231-0006 横浜市中区南仲通5-60 TEL 045-201-0926 FAX 045-201-7364

贅沢な「入門!」展

約1年9か月の休館を経て、神奈川県立歴史博物館は再開します。展示室の照明のLED化、展示ケースのガラスに反射を抑えるフィルムの設置、新しい展示台の導入、エレベーターの更新など展示環境が大きく変わりました。

再開館最初の特別展ではこの新しい環境で「入門!」と銘打ち、当館自慢のコレクションをじっくりと見ていただきます。意外にも当館所蔵のコレクションをまとめて見ていただく機会は約8年ぶりのことです。国指定重要文化財の十王図(展示替有)・色々威腹巻・二十八間四方白星兜鉢・二十四間四方白星兜鉢の4件を約20年ぶりに同時に展示します。源頼朝のサインとして有名な源頼朝袖判下文、教科書でおなじみの時宗の一遍上人像をはじめ、近年評価も人気も高まった五姓田義松の老母図、当館所蔵の神奈川県指定重要文化財の作品・資料もほぼ網羅します。当館が誇る浮世絵の丹波恒夫コレクションからは、歌川広重の代表作東海道五十三次のうち県内の川崎～箱根までの9点を一堂に展示します(前期)。さらに、今年3月開催のトークフェスで紹介した学芸員が選んだ逸品がずらりと並びます(一部は常設展で展示します)。収蔵品のすべては紹介できませんが、小田原北条氏の虎の印判状、真葛焼、仏像、歴史資料、刀剣、工芸品と幅広いラインナップです。

営業部長パンチの守を筆頭に当館職員一同いつも以上にはりきっています。みなさまのお越しを横浜・馬車道でお待ちしています。



横浜正金銀行本店本館



県重文 菩薩坐像

入門! 神奈川県立歴史博物館 一県博の守り伝えていくコレクション—

【関連行事】 ◎は事前申込制、申込多数の場合は抽選

◎連続講座(全3回)

「入門! 神奈川県立歴史博物館の5つのテーマ」

第1回: 11月1日(日)

テーマ1「古代」 講師: 佐藤兼理(当館学芸員)

テーマ2「中世」 講師: 鈴木愛乃(当館学芸員)

第2回: 11月8日(日)

テーマ3「近世」 講師: 寺西明子(当館学芸員)

テーマ4「近代」 講師: 嶋村元宏(当館主任学芸員)

第3回: 11月15日(日)

テーマ5「現代」 講師: 武田周一郎(当館主任学芸員)

「民俗」 講師: 新井裕美(当館主任学芸員)

時間: 14時～16時 場所: 当館講堂

定員: 各回60名

受講料: 無料(ただし、当日の特別展観覧券が必要)

申込締切: 10月6日(火) 必着

◎館長トーク特別編

「神奈川県立歴史博物館の過去・現在・未来」

日時: 10月24日(土) 14時～15時30分

場所: 当館講堂 講師: 望月一樹(当館館長)

定員: 60名 受講料: 無料(ただし、当日の特別展観覧券が必要)

申込締切: 9月30日(水) 必着

◎建物見学会

「一番大きな館蔵品を探検しよう」

「国指定重要文化財 旧横浜正金銀行本店本館」

日時: 11月7日(土) ①10時～11時 ②14時～15時

講師: 丹治雄一(当館学芸部長)

定員: 各回15名 受講料: 無料(ただし、当日の特別展観覧券が必要)

申込締切: 10月13日(火) ※往復はがきでは申し込みできません。

口学芸員による展示解説

日時: 10月31日(土)、11月6日(金)、14日(土)、28日(土)、12月12日(土)

時間: 13時30分～14時

参加費: 無料(ただし、当日の特別展観覧券が必要)

口開館時間延長(特別展のみ)

日時: 11月20日(金) 17時～19時(最終入館時間は18時30分)

団体料金の観覧料で入場いただけます。

18時から担当学芸員による展示解説



丹波コレクション 東海道五拾三次之内 箱根歌川広重(初代)[前期]



県重文 花鳥図 賀江祥啓[前期]



田邊哲人コレクション 当館寄託 高浮彫牡丹二眠猫覚醒蓋付水指 宮川善山(初代)



県重文 老母図 五姓田義松



県重文 源頼朝袖判下文[前期]



国重文 十王図(直符使者幅)[後期]



みなとみらい線
「馬車道駅」3・5番出口から徒歩1分
JR「桜木町駅」新南口(ICカード専用)
から徒歩5分

次回展示のお知らせ

特別展

「昭和100年
神奈川けんぱく60年のあゆみ」

2027年1月23日(土)～3月22日(月・休)



事前申込が必要なイベントの申込方法については、ホームページをご確認ください。



本展では
スマートフォンアプリによる展示解説も実施します。

特に記載のない作品はすべて当館所蔵